

令和7年  
11月29日(土)

## 2025ふるさと大槌会

関東在住の大槌町出身者による「2025ふるさと大槌会」が東天紅上野本店で開催され、72人が参加しました。町長や議会議員も参加し、地元とのつながりを深めるひとときとなりました。

特に注目されたのは、雁舞堂七福神による華やかな舞の披露。参加者たちはその演技に歓喜し、故郷の伝統を感じた瞬間でした。さらに、大槌町観光交流協会の協力で特産品の販売も行われ、大槌の味を参加者に届けました。

第二部では、会員の高木桜子さんが東日本大震災後に「自分だからこ



総務課 Tel 0193-42-8710

そできたこと」をテーマに、姉妹都市交流事業の支援経験を経て故郷への愛と責任を再確認したことについて話されました。町からは鎮魂の森「あえーる」の完成報告があり、参加者たちは震災伝承への意気込みを新たにしました。

参加者同士の交流が深まるとともに、町との絆がさらに強化された一日となりました。

令和7年  
11月22日(土)

## 大槌町ネットワーク交流会

東日本大震災後、復興支援や産業振興でサポートをいただいた自治体、元応援職員、企業・団体などの皆さまに「感謝の思い」を伝えるため、「大槌町ネットワーク交流会」を大阪キャッスルホテルで開催しました。4回目となる本交流会は、今回をもって終了を迎えます。最後となった大阪会場には、72人の出席者が集まりました。

第一部では、震災直後の対応から震災伝承に至る「復興の歩み」を報告。さらに、地域の活性化を目指した産業振興策など、町の取り組みについて説明しました。

第二部では、大槌の地域おこし酒



産業振興課 Tel 0193-42-8725

「源水」や町の特産品「岩手大槌サーモン」「大槌鹿のジビエ」などをふんだんに使用した料理が振る舞われ、出席者は会話を弾ませながら交流しました。また、ステージで披露された阪神虎舞による力強く躍動感のある演舞に、会場は大いに盛り上がりしました。

## 秋季火災予防運動

子どもたちが地域に火災防止を呼び掛ける運動を行いました。この時期は、暖房器具や調理器具などを使用する機会が多くなります。火の取り扱いや後始末には十分気を付けましょう。

### さくらこども園

#### 「ぬりえに込めた『火の用心』の思い」

令和7年11月11日(火)、大槌町消防クラブ、さくらこども園の園児18人が秋季火災予防運動の啓発活動として、県営屋敷前アパートの約100世帯に、火災予防の注意事項が書かれた「防火チラシ」を配布しました。子どもたちは、元気な声で防火を呼び掛けながら、一軒ずつ手渡ししました。

このチラシは、園児たちが一枚一枚丁寧に色を塗り、防火への思いを込めながら作成したものです。

受け取った町民は、「とてもうれしいです。子どもたちからたくさん元気をもらいました」と園児たちのはつらつとした姿に感動していました。



### つつみこども園・吉里吉里保育園 「合同防火パレード」

令和7年11月13日(木)、大槌町消防クラブ、つつみこども園と吉里吉里保育園の園児約70人が合同で防火パレードを行いました。秋季火災予防運動の一環であるこのパレード。園児から「火遊びはしません」「火のそばで遊びません」「みんなで火事をださないように気を付けます」の3つの誓いを宣言し、つつみこども園を出発しました。地元の消防団や婦人消防協力隊のなども加わり、「火の用心」を呼び掛けました。

パレードの途中には、園児によるダンスも披露され、吉里吉里地区に子どもたちの元気な声が響き渡りました。



大槌消防署 Tel 0193-42-3121